

会 議 録	
会議名	令和5年度第4回在宅医療・介護連携推進協議会 研修部会
日 時	令和6年1月23日（火） 13時30分～14時30分
会 場	グーグルミートWEB会議
参加者	<p>【会長】高橋公一（みさと中央クリニック）</p> <p>【委 員】山本洋子（ファミリーケアたかの）、宮田姫芳（アスカ訪問看護ステーション）、川津清和（みさと協立病院居宅介護支援事業所）、三瓶裕之（三郷ケアセンター）</p> <p>【サポートセンター/三郷市医師会】藤井なほ美、川島幸道</p> <p>【市事務局】八巻絢子、小笠原郷太、久保田恵子</p> <p style="text-align: right;">（敬称略）</p>
検討課題	<p>1. 令和5年度の評価、振り返り</p> <p>2. 令和6年度の方針について</p>
内 容	<p>1. スケジュール（会議）</p> <p>第1回部会 令和5年6月20日（火）13：30～（WEB会議）</p> <p>第2回部会 令和5年7月19日（水）13：30～（WEB会議）</p> <p>第3回部会 令和5年9月26日（火）13：30～（WEB会議）</p> <p>第4回部会 令和6年1月23日（火）13：30～（WEB会議）</p> <p>（今年度の評価及び次年度方針決定）</p> <p>2. 今年度の研修会について</p> <p>■三郷市多職種向け在宅看取り研修会</p> <p>日 時：令和5年11月25日（土）14：30～15：30</p> <p>会 場：三郷中央におどりプラザ 3階会議室A B</p> <p>方 法：会場とWEB研修会</p> <p>テーマ：「在宅看取り」</p> <p>発表者：アスカ訪問看護ステーション 宮田姫芳 ロイヤル訪問看護ステーション 三井純也 ファミリーケアたかの 山本洋子</p> <p>・アンケートの結果 （別紙1）</p> <p>申込人数 45名</p> <p>参加人数 41名（内 会場 18人、配信 23人）</p> <p>アンケート返信数 23名 回収率 56.0%</p>

<p>内 容</p>	<p>※今年度の活動と振り返りを話し合いました。</p> <p>【委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEB と会場のハイブリットで同時に反応を見れないので話しかける間を取るのが難しい。他職種の事例を聞けてとても参考になった。グループ分けができていたのでグループワークできなくて残念だった。 ・自分自身も参加して勉強になった。11/25 は他の場所でも研修があり、参加者を思う通り集められなかった。グループワークは行わなかったが、参加者はグループ分けしているとグループワークをすと思うようだ。 ・発表者だったが、事例の振り返りや高橋先生からの意見を聞けたり、自職種の動きが伝えられたりしたのも良かった。もう少し参加者を呼べたらよかった。WEB は参加し易いが、最近では会場だけの研修も増えている。会場だけにすれば受入れの幅が無くなり参加者が減ってしまう。WEB と会場のハイブリット形式はどちらに重きを置いて研修を進めるのか、配慮しつつ考えることが難しいと感じた。 <p>充実した研修を行うためには、どこに焦点を当てて何をどのように勉強していくか明確にしていくことが大切だと思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の幅を広げるという事でやはりハイブリット形式の開催がいいのかなと思う。在宅看取りについて良く知らない部分もあり、リアルに現場の話聞いて理解が深まったことは個人的にも良かった。 <p>3. 令和 6 年度研修部会活動方針について</p> <p>令和 6 年第 1 回三郷市在宅医療介護連携推進協議会において、令和 6 年活動方針を決定しますが、本日の委員会で、一案として令和 6 年度活動方針を検討しました。</p> <p>① 研修部会について 【案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 6 年度も年 1 回の多職種向け研修会を行う。 <p>② 内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修者からの希望（別紙 アンケート結果参照） <p>独居・身寄りのない高齢者の在宅看取りに対して必要な事、社会資源。</p> <p>死亡後の対応。独居、生保の方はどうしているのか</p>
------------	---

	<p>認知症に対する医療介護連携支援の進め方 薬剤師と介護施設の関わり方、薬剤師の訪問 癌のターミナル、麻薬の扱いについて 介護職員へ意識向上アプローチの仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三郷市在宅医療介護連携推進協議会の議題 在宅看取り 日常の療養 <p>【委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身寄りのいない高齢者の看取りについて、ケアマネ協議会でも課題にあがっていて関心が高い。他には認知症薬の管理方法に興味がある。 ・ターミナルケアでは医療度が高い方ばかりなので、介護職は医療について指示がないと動けない。介護職は医療とどう関わって連携していくか、また薬剤師さんとどう関わっていくか勉強したい。 ・どの項目も興味深いと思う。麻薬に関してはなかなか学ぶ機会がなかったかなと思う。 ・在宅看取りの研修も増えているのではないだろうか。色々な研修が進む中で今後は介護職員へ意識向上アプローチの仕方へ進んで行っても良いかも知れない。訪問薬剤師がどのような事をしているのかも知りたい。 ・どのテーマも興味深く、色々な職種の立場からそれぞれ取り組みを検討し、研修することができると思う。 <p>ACP や看取りの研修をいくつか開催してきて、他でも開催しているし、重なってきたなと感じるが、多職種側の側がACPをどのように行うか、考え方や利用者さんと家族にACPについて多職種で話せる為に学ぶことは良いことと思っている。</p> <p>研修会を開催する際に気を付けることとして、たとえば、「がんのターミナルの麻薬の取り扱いについて」をテーマにすると看護師や薬剤師にとって勉強になるが介護関係者にとってはどうかとか、「薬剤師と介護施設との関わり」とかにすると薬剤師を中心の研修になる。そうなるとう参加者も減るし、多職種として幅広く受け入れる研修にするには介護職の人がこうしてくれれば薬剤師の人も助かるみたいにするとか、20分ずつの2部構成で前半は「薬剤師の麻薬の取り扱いについて」後半は「それについての多職種でどう</p>
--	--

	<p>情報共有するか」等として参加者が全員参加できるように工夫する配慮が必要と思う。</p>
結 論	<p>1. 振り返り</p> <p>①他職種の事例が聞けて、他職種の葛藤や悩み、情報共有の大切さ等が分かり勉強になった。</p> <p>②ハイブリット方式の開催は参加者の幅を広げるために良かったが、開催する方は片方に隔たりが無いよう両方のバランスをとったり、グループワークができなかったり、難しい所があった。</p> <p>2. 令和6年度の方針について</p> <p>①年1回の多職種向け研修会を開催する。</p> <p>②ACPの継続、協議会の課題、研修会参加者より要望のあった研修を参考にして協議していく。</p> <p>③研修会の開催にあたり、会場や対象者について、どこに研修の重点を置くか、また多職種全員の役に立つように配慮していき、詳細をしっかりと決めていきながら計画を立てていく。</p>
次回検討課題	<p>令和6年度の活動方針について</p>
次回開催日時	<p>令和6年度第1回研修部会 令和6年6月頃予定 詳細は後日MCSにて連絡する。</p>